

ノートの活用のきまり

ノートは、学習のあしあとであり、自分のための参考書です。

ノートは、読みやすく分かりやすく書いているでしょうか？

分からない時に振り返ることができるよう、ページや番号がきちんと書かれているでしょうか？

図や絵や書き込みをして自分なりの工夫をしているでしょうか？

ノートは学習のあしあとであり、自分で作る自分のための参考書です。

ノートに、その日その日の記録をきちんと書き込むことが、学習の積み重ねであり、かしこくなることにつながります。

勉強ができるようになるためのノートの活用のきまりです。

授業中下のことに気をつけて学習のあしあとを残していきましょう。

① 授業の始めにはページを開いておく。

② 下じきを敷いて書く。

③ 日付を書く。

④ 教科書のページ番号を書く。

⑤ 学習課題を書く。

⑥ 行間をあけてゆったり書く。

⑦ 定規を使って線を引く。

